

# GALLERY SEKI RYU

ギャラリー 石 榴

文 承 根 Moon Seung-Keun

- 1947年 石川県小松市生まれ
- 1950年 京都に転居
- 1965年 大阪府立天王寺高校中退後、大阪市立美術館付設美術研究所に入所
- 1968年 具体美術協会のリーダー・吉原治良に見いだされ、第21回具体美術協会展に出品
- 1969年 第5回国際青年美術家展に出品、受賞
- 1971年 藤野登から文承根（ムン・スングン）に改名し、以後同名で発表
- 1977年 第1回日本現代版画大賞展 アルシュ・リーブ賞受賞
- 1982年 胆嚢癌により逝去（34歳）

## ■個展・二人展

- 2016年 「文承根展」 ときの忘れもの、東京  
「文承根」 SH GALLERY、アートフェア東京 2016、東京国際フォーラム
- 2012年 「文承根—終わりなき反復—」 中長小西、東京
- 2007年 「文承根+八木正：1973-83の仕事」 京都国立近代美術館、京都／千葉市美術館、千葉
- 2004年 「第5回 2004 光州市立美術館所蔵河正雄コレクション 文承根展」 光州市立美術館、光州
- 1984年 「文承根追悼展」 ギャラリーQ、東京  
「文承根展」 梁画廊、京都
- 1982年 「個展」 ギャラリー白、大阪
- 1981年 「個展」 ボックス・ギャラリー、名古屋
- 1980年 「個展」 シティギャラリー、神戸
- 1978年 「個展」 ギャラリー手、東京  
「個展」 信濃橋画廊、大阪  
「個展」 ギャラリー・サードフロア、京都
- 1977年 「個展」 白樺画廊、東京  
「個展」 ギャラリーキタノサーカス、大阪
- 1976年 「個展」 信濃橋画廊、大阪

- 1975年「個展」ギャラリー16、京都  
「個展」信濃橋画廊、大阪  
1974年「個展」村松画廊、東京  
1973年「個展」ギャラリーシグナム、京都  
1968年「個展」信濃橋画廊、大阪

## ■主なグループ展

- 2025-26年「いつもとなりにいるから 日本と韓国、アートの80年」横浜美術館、神奈川  
2019年「2018 New Acquisitions」大田市立美術館、デジョン  
2018-19年「ニュー・ウェイブ 現代美術の80年代」国立国際美術館、大阪  
2017年「文承根 藤野登 倉貫徹」ART OFFICE OZASA、京都  
2008年「CHUNG Sang-hwa, Lee Ufan, MOON Seung-Keun」ギャラリー現代、ソウル  
2007年「子どもの目で見ると、てんらんかい」府中市美術館、東京  
2004年「痕跡—戦後美術における身体と思考」京都国立近代美術館  
1982年「韓国現代美術の位相展」京都市美術館、京都  
「在外作家展」国立現代美術館、ソウル  
1981年「韓国版画ドローイング '81展」国立現代美術館、ソウル  
1980年「韓国版画ドローイング大展」国立現代美術館、ソウル  
「1980日本の版画」栃木県立美術館、栃木  
1979年「第5回エコール・ド・ソウル」国立現代美術館、ソウル  
1978年「20年を迎えた京都アンデパンダンの方向」京都市美術館、京都  
「アート・ナウ '78」兵庫県立近代美術館、兵庫  
1977年「第1回日本現代版画大賞展」松屋、銀座  
1974年「今日の方法 '74展—KYOTO・SEPTEMBER」京都市美術館、京都  
「シグニファインガー言語・事物／態度の表明とともに」京都市美術館、京都  
1971年「すっかりだめな僕たち展」京都市美術館、京都／京都書院ホール、京都  
1969年「第5回国際青年美術家展」西武百貨店池袋店、東京／静岡県民会館、静岡  
1968年「第21回芦屋市展」芦屋市立公民館、兵庫  
「次元 '68展」京都市美術館、京都  
「第21回具体美術協会展」グタイピナコテカ、大阪  
「具体美術小品展」グタイピナコテカ、大阪

## ■コレクション 50音順

京都国立近代美術館、京都  
国立国際美術館、大阪  
埼玉県立近代美術館、埼玉  
千葉市美術館、千葉  
東京国立近代美術館、東京  
徳島県立近代美術館、徳島  
栃木県立美術館、栃木  
府中市美術館、東京  
福岡アジア美術館、福岡

光州市立美術館、光州  
国立現代美術館、ソウル